

(様式1)

### 平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 040	提案機関名 足柄地区事務所
<b>要望問題名</b> 茶防除暦作成のための基礎調査	
<b>要望問題の内容</b> 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 オマイト乳剤は掲載してから長期間が経っているため、気温が低い時期の効果的なダニ剤の検討をメインとして、掲載している剤の効果を検討して欲しい。 また、チャノキイロアザミウマの防除が年々困難になってきている。掲載剤は数が多いため効果を検討して欲しい。	
<b>解決希望年限</b>	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内    4～5年以内    5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター    畜産技術所    水産技術センター 自然環境保全センター
<b>備考</b>	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	北相地区事務所 研究課
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施    実施中    継続検討    実施済    調査指導対応    現地対応    実施不可		
<b>試験研究課題名</b> ( 、 、 の場合)	病害虫の診断・同定及び発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立 診断・同定及び防除技術の確立		
<b>対応の内容等</b>	ハダニやアザミウマなどの薬剤抵抗性の発達早い害虫については、地域ごとに抵抗性が異なることが考えられるので、現地採集個体を材料にする必要があります。試験実施に当たっては一定規模の供試数を確保するため、当該虫の飼育による増殖が要求されます。アザミウマの飼育は技術的・労力的に難しいので、本要望については、まずカンザワハダニについて実施とし、アザミウマについては技術的・労力的に取り組める状況になりましたら実施したいと思います。なお、実施にあたっては現地の農薬使用状況の情報提供や当該虫の採集について御協力願います。		
<b>解決予定年限</b>	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内    4～5年以内    5～10年以内		
<b>備考</b>			